

大規模地震が起きたら医療機関に人が殺到!?

# 災害時のけが、どうしたらいいの?

大規模地震が発生した場合、医療機関では緊急性や重症度が高い患者を優先して診療を行います。軽症者が医療機関に殺到すると混乱が起きてしまうため、けがの状況に応じて行動しましょう。

## 軽度のけがは、 自助・共助による応急手当!

軽いけがや発熱は自分や家族、近隣の人に応急手当してもらいましょう。日頃から薬や応急手当用品を用意しておく  
と安心です。

地震によるけがの  
約30~50%が、  
家具類の  
転倒・落下・移動が  
原因でした。



### 日頃の備え

#### 救急箱の準備

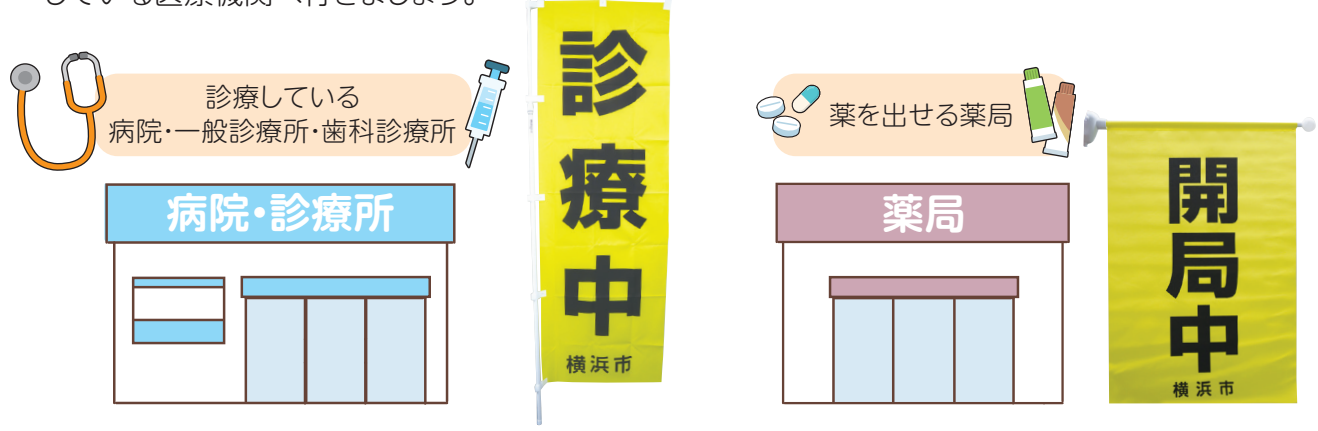
- 体温計
- 三角巾
- ばんそうこう
- はさみ
- 包帯
- マスク 等
- ピンセット(とげ抜き)

#### 備えておいたほうがよい薬

- 風邪薬
- 目薬
- 胃腸薬
- 湿布薬
- 消毒薬
- かゆみ止め軟膏
- うがい薬
- 鎮痛剤 等

## 自助共助で応急手当ができないときは、 近くの医療機関へ!

震度6弱以上の地震が起きたときに、開設可能な医療機関と薬局は、目印として「診療中」や「開局中」の黄色いのぼり旗を掲出します。自分や身の周りの人で手当ができないときは、のぼり旗を掲出している医療機関へ行きましょう。



大規模地震に備えて、身の回りの危険回避の準備をしましょう。命を守るには予防が大切です。



港北区医師会 鈴木会長

- 近隣にかかりつけ医があると、安心です。
- 内服薬がある人は、「おくすり手帳」を準備し、薬の備えについても主治医と相談しておきましょう。

のぼり旗掲出訓練  
9月1日(金)~7日(木)

この機会に近隣の医療機関を確認し、いざというときのために備えましょう。

市の災害時の医療提供体制について



要電源医療機器使用者の日頃の備えについて



## あなたの力を貸してください Yナース(横浜市災害支援ナース)募集中!

Yナースは大震災発生時に「医療救護隊」として区内の避難所等で軽症者に対する応急医療を行います。

**登録資格** 市内在住か在勤の保健師・助産師・看護師・准看護師の有資格者で、災害時に区内で支援活動ができる人  
※病院勤務等で、災害時に職場に参集することになっている人は原則除く。

**登録方法** 所定の用紙(区役所や区ウェブサイトから入手可)を郵送か、直接事業企画担当(区役所3階36番窓口)へ

詳細はこちら

